



青少年指導員だより

金沢区

Youth 21



愛称・あいちゃん

発行 金沢区青少年指導員協議会  
編集 広報部会金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所 地域振興課内  
電話 (045) 7 8 8 - 7 8 0 5 番  
FAX (045) 7 8 8 - 1 9 3 7 番

## スクールゾーンキャンペーンを開催



11月18日(土)、横浜市立富岡小学校において、スクールゾーンキャンペーンを実施しました。このキャンペーンは、スクール

ゾーン周辺の地域の皆様に「青少年見守り活動」の周知・啓発を行うために毎年行われています。

校庭で出発式を行った後、青少年指導員、PTAの皆さん、学校の先生方、地域の皆さん、子どもたちが、

「青少年見守り活動・子どもたちを地域で守ります」と書かれたキャンペーン旗を先頭に通学路を歩き、チラシの投函や、行き会った人への声かけを行いました。

このように、より多くの方々が子どもたちの安全・安心な環境を見守ってくださるよう依頼・啓蒙する活動を今後も続けていきたいです。



## 第43回 いきいきフェスタに出展



10月21日(土)に海の公園で「金沢まつりいきいきフェスタ」が開催されました。超大型の台風21号が迫る中、雨の中を多くの青少年指導員が準備を行いました。

大きなブルーシートを2枚つなげて臨時的な屋根を作り、その下にテーブルを並べて、「バルーンアート」「ブンブンごま」「折り紙」の作業ができるようにしま

した。まだ台風は遠く沖縄の辺りにあったので、風もなく雨が吹き込むことはありませんでした。

今年の来場者は例年の三分の一程度でしたが、雨合羽を着込んだ小さな子どもたちが熱心に工作に励んでいました。テントの中では今年から「ぼたんちゃん」の塗り絵を始めました。いろいろな色のクレヨンと色鉛筆を用意して、子どもたちは好きな色を使ってぬっていました。

テントの中なので、気付かずに通り過ぎてしまう人もいたので、晴れていれば、もっと子どもたちが集まったと思います。午後から雨も強くなってきたので、早めの撤収となってしまいました。

来年は好天を期待したいと思います。



## 全市一斉統一行動キャンペーンを実施



子ども・若者育成支援強化月間」と定めている11月に毎年行われています。今年も、駅前や店舗など人通り

11月5日(日)、全市統一行動キャンペーンが実施されました。このキャンペーンは、青少年育成運動の充実と定着を図るため、内閣府が「子ども・若者育成支援強化月間」と定めている11月に毎年行われています。今年も、駅前や店舗など人通り

の多い場所で、横浜市青少年指導員連絡協議会が作成したチラシの配布を行い、市民の皆さんに青少年健全育成への協力を訴えるとともに、青少年指導員の活動をアピールしました。



## チラシのイラストを募集しました!

キャンペーンに先立ち、キャンペーンチラシのイラストを「子どもはみんな社会の子」をテーマに区内の中学校から募集しました。各中学校からたくさんの応募があり、区協議会ではそこから2点を選考し、横浜市青少年指導員連絡協議会に推薦しました。

区協議会では、推薦した2点を、金沢区青少年指導員協議会賞として表彰しました。



横浜市立金沢中学校  
小濱 繪音さんの作品



横浜市立西柴中学校  
美術部の皆さんの作品

## 地区だより

### 各地域でみかん狩りが開催されました

実りの秋をむかえ、地域のみなさんといっしょにみかん狩りに出かけました

#### 金沢地区



#### 能見台地区



#### 六浦地区





## バーベキュー大会

富岡第三地区



9月9日(土)野島公園にて富岡第三地区のバーベキュー大会が行われました。残暑厳しい日でしたが、5町内で計355名が参加しました。焼肉、焼き鳥、焼そばなどお腹一杯食べた後、子どもたちは広い公園内を駆けまわったり、ポー

ル遊びや磯遊びをしたりして楽しみました。その後、恒例のビンゴ大会です。いま流行りのハンドスピナーやスケボーなど、子どもたちは景品に目を輝かせて盛り上がりました。今年も事故なくバーベキュー大会を終えることができて良かったです。役員や世話役の皆様には、お手伝いして頂き感謝です。

ル遊びや磯遊びをしたりして楽しみました。その後、恒例のビンゴ大会です。いま流行りのハンドスピナーやスケボーなど、子どもたちは景品に目を輝かせて盛り上がりました。今年も事故なくバーベキュー大会を終えることができて良かったです。役員や世話役の皆様には、お手伝いして頂き感謝です。



## 南極にいったよ！

金沢東部地区

10月14日(土)、金沢東部地区では「青少年指導員と行く南極大冒険ツアー」を実施しました。向かったのは、立川にある「国立極地研究所南極・北極科学館」です。子どもたちは見たこともない氷の大地に興味津々な様子で、館内に展示されている南極地域の動物たちのほく製や、南極の石、氷、そして昭和基地のミニチュア、実物大



の部屋のモデル、南極観測隊の車、オーロラの映像などを見て楽しみました。昼食の後は川崎に移動して東芝未来科学館へ。ここでは様々なアトラクションに参加して科学の楽しみながら学びました。

子どもたちがこうした経験を通じて、世の中の様々なものに興味をもってけると、とても嬉しいです。



## ウォークラリー大会

六浦西地区



第29回六浦西地区ウォークラリー大会が、11月5日(日)に、青少年指導員協議会と大道中学校区PTAの共催により開催されました。

今回は、大道中学校を出発地とし、宝樹院、高舟台第一公園等の5か所のチェックポイントを経て六浦西第二公園(湘南八景)をゴールとするコースです。9時30分から受付順に1分間隔でスタートし、チェックポ

イントごとにクイズやゲームがあり、通過シールをもらいながら進みます。

友達同士や家族連れのグループなど、52チーム163人の参加者が、施設や横断歩道などが描かれた「コマ図」を頼りに歩き、何回かの下見をもとに設定された「基準タイム」にどれだけ近い時間でゴールするかを競う大会です。

常連参加の大道中学校バスケットボール部のスピードと活気を感じられる一方で、のんびり楽しむグループも多かったです。孫と一緒に参加者は「孫とコマ図をにらめっこしながら、だいふ歩いたが、宝樹院の阿弥陀三尊像を開帳してもらい、貴重な史跡もみることができ、初めてだったが楽しかった。」と感想も頂けました。

ゴール後には、PTAの方々が作った美味しい豚汁が振る舞われ、閉会式では、上位5チームが表彰され、特別賞も贈られ、歓声が上がっていました。

当日は、穏やかな秋晴れに恵まれ、スポーツ推進委員、民生委員など多くの方々の協力を得て、事故もケガもなく、無事に大会を終えることが出来ました。



## 第40回 新春百人一首大会

釜利谷地区



1月8日(月・祝)、釜利谷地区青少年指導員協議会の主催で、西金沢学園創志館(旧西金沢中学校)において、新春百人一首大会が開催され

ました。今年、西金沢学園中等部 4 チーム、釜利谷中学校 2 チーム、金沢中学校 4 チームの計10チーム50名の参加がありました。トーナメント戦は、読み手の一言に集中する緊張感と取札が飛ぶ白熱した試合でした。優勝は西金沢Cチーム、準優勝が釜利谷Aチーム、

三位が西金沢Bチームでした。

第40回という節目の大会のため、昨年夏頃より準備を進めていました。準備にあたっては、関係中学校の先生方、各自治会関係者、そして神奈川県かるた協会より宮田先生、永吉先生には、大変お世話になりました。特に宮田先生は、第1回大会より読み手を勤めていただいています。次の節目の年を新たな目標にして、引き続き新春百人一首大会を開催していきたいと考えています。



## 能見台地区フェスタ

能見台地区

10月1日(日)、能見台地区フェスタを中央公園で行いました。能見台小学校の和太鼓、能見台南小学校のダンス、富岡中学校の吹奏楽、氷取沢高校のジャズ、地域の方の能見台音頭など盛り沢山のイベントで、2000名以上の来場者で盛り上がりました。中でも青少年指導員主催の移動動物園は、600名近くの希望者があり、入場制限が出るほど大盛況でした。ヤギ、クジャク、七面鳥、ウサギ、モルモット、ヒヨコなど、子ども達が直接触れ合ったり野菜をあげたりと、いい経験となった事でしょう。「ぼたんちゃん」や動物の塗り絵も好評で、それぞれの個性を發揮した出来上がり満足していた様子でした。



平成29年度

### 表彰者のご紹介

多年にわたり、積極的な青少年育成活動を行っていただいている指導員の方々が、日頃の活動に対して表彰を受けられました。おめでとうございます。

#### ○神奈川県青少年指導員表彰

・日置 信司さん (六浦)

#### ○神奈川県青少年育成活動推進者表彰

・上田 幸右さん (六浦東)  
・前田 純一さん (六浦西)

#### ○金沢区社会福祉協議会社会福祉功労者表彰

・富樫 法仁さん (富岡西・能見台)

#### ○横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰

##### ◆20年

・日置 信司さん (六浦)

##### ◆15年

・小谷 徳子さん (シーサイドタウン)  
・藤木 保広さん (六浦)

##### ◆10年

・木村 好秀さん (能見台)  
・中里 みほ子さん (シーサイドタウン)  
・伊藤 実さん (六浦東)  
・上田 幸右さん (六浦東)

### 編集後記

今期最後の Youth 21 を発行することが出来ました。当初は至らないことも多くありましたが、皆様のご協力とメンバーの尽力で無事に任期を終えることが出来ます。この場を借りてお礼を申し上げます。

次号から新たなメンバーとなりますが、今期の経験を次期メンバーに活かしてもらい、よりよい広報誌に生まれれば幸いです。2年間大変お世話になりました。ありがとうございました。